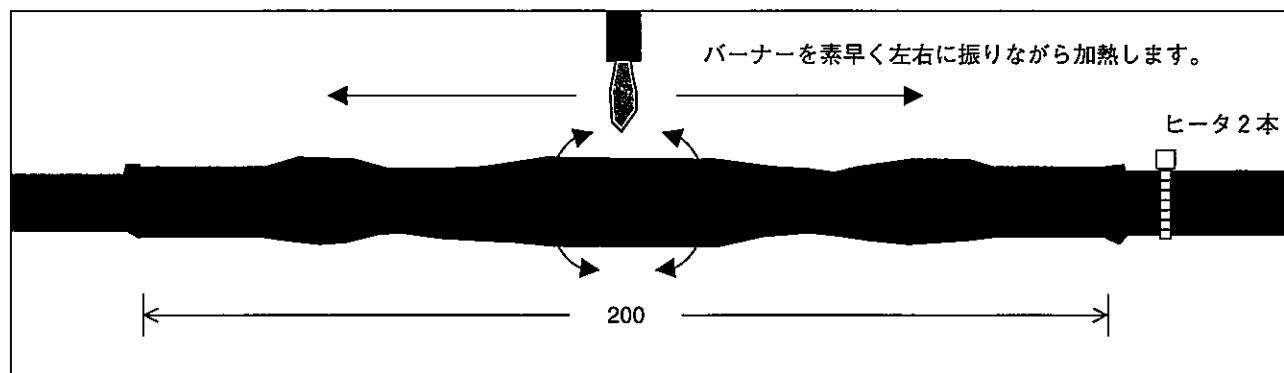


## ステップ11

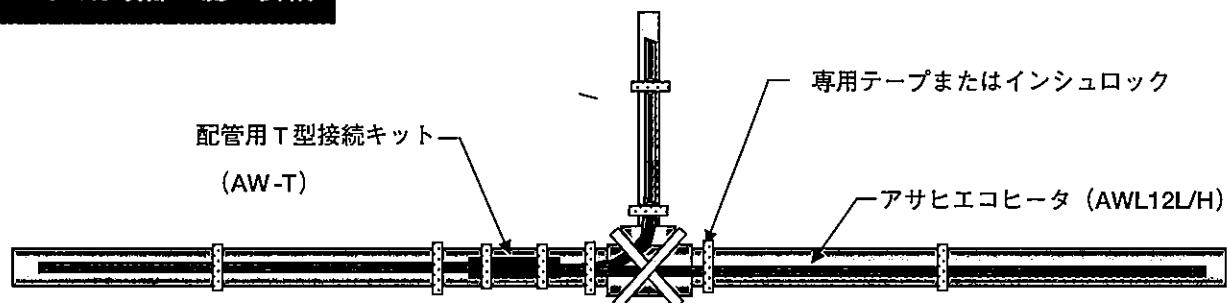
収縮チューブを加熱する時には、必ず中央部から加熱収縮させ、徐々に外側方向へ加熱移動します。

加熱作業は弱火で行い、チューブ全体に光沢があらわれ、

収縮チューブの両端から接着材が流れ出るまでやさしく加熱します。(収縮後のチューブおよび接着剤は高温です!)



### ヒータT分岐部の施工要領



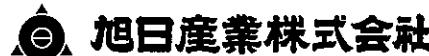
### 収縮チューブ加工時の注意事項

収縮チューブは必ず中央部から加熱収縮してください。バーナーの炎は収縮チューブから 5cm 以上離し、左右上下バランスよく動かしながら、焦がさないように収縮してください。



### 注意

- バーナー使用に際しては細心の注意を払ってください。（事故・損傷の恐れがあります。）
- バーナー使用時は絶対に他人へ向けないよう注意ください。（けが・火傷の恐れがあります）
- バーナー使用時は周囲に可燃物を置かないよう注意ください。（引火・火災の恐れがあります）
- 収縮中、収縮直後のチューブには直接素手で触れないでください。（火傷の恐れがあります）
- チューブ端部より流れ出た接着剤には直接素手で触れないでください。（火傷の恐れがあります）
- 加工時または加工前には要領書を良く読み、作業してください。（事故・損傷の恐れがあります）



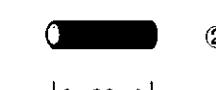
本製品は電気製品のため正しい取扱いおよび施工が必要です。  
本カタログに記載する情報(図含む)は信頼のおけるものと考えておりましたが、ご使用に際しては選定した製品が用途に適合するかどうか、貴社にて評価および確認頂くことが必要です。仕様の変更は予告なしに行なうことがあります。  
また仕様に影響しない範囲での材料、工程等の変更を行なうこともあります。

### 配管用T型接続キット

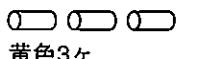
## 加工要領書

### 構成部品

#### ■ 热収縮チューブ



#### ■ 絶縁圧縮端子

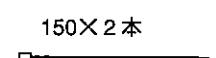


#### ■ マスチック

40mm×4枚



#### ■ シンシュロック



150×2本

### 使用工具

#### ■ カッターナイフ

#### ■ ニッパー（小型）

#### ■ 圧縮ペンチ 「絶縁端子用」

#### ■ ペンチ

#### ■ ラジオペンチ

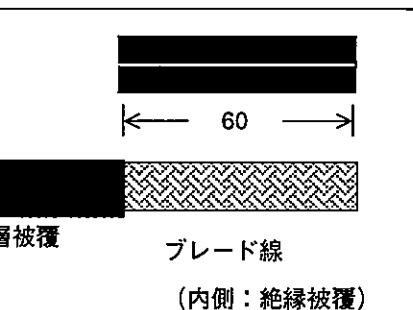
#### ■ バーナー

## 完成図



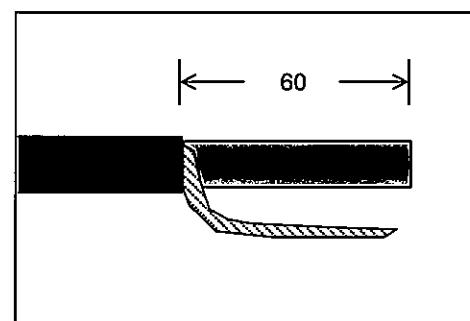
### ステップ1

まずヒータの加工前に、2本の収縮チューブ①②をどちらかのヒータに挿入しておきます。次に、ヒータの外層被覆を60mm取り除きます。カッター使用の切込み作業では、内側のブレード線および絶縁被覆を損傷させないように注意します。



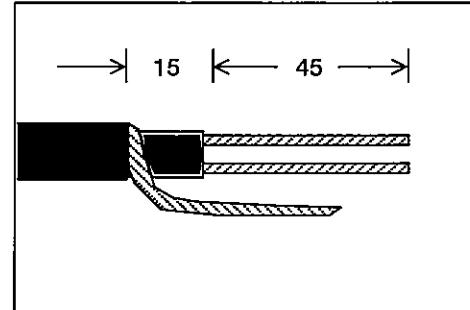
### ステップ2

ブレード線を外層被覆のむき出し端部に引き寄せ、ブレード線上に開口部を作り、内側にある絶縁発熱体を引き出し、図のようなピッグテール状に扱ってまとめます。（作業要領は別紙参照ください。）



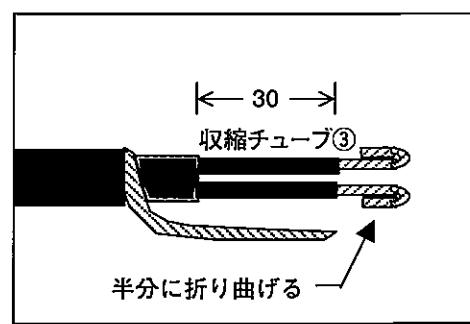
### ステップ3

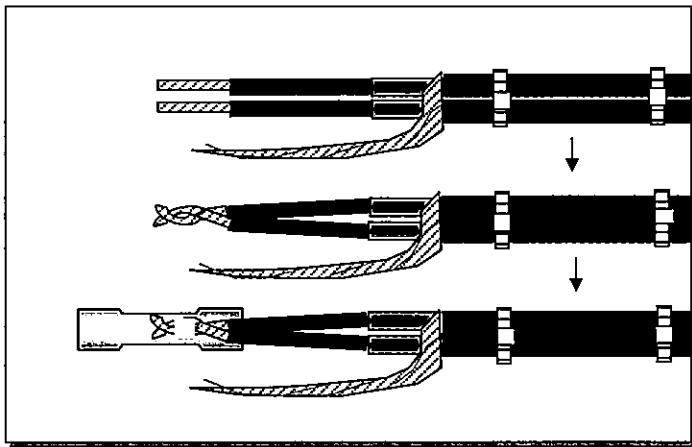
絶縁発熱体の端部より、導線を各々 45 mm 取出します。なお、加工中は導線を損傷させないように注意します。



### ステップ4

図のようにむき出した各導線へ、収縮チューブ③を発熱体端部までしっかりと挿入し、加熱収縮させます。  
加熱収縮後、各導線を二重に折り曲げます。



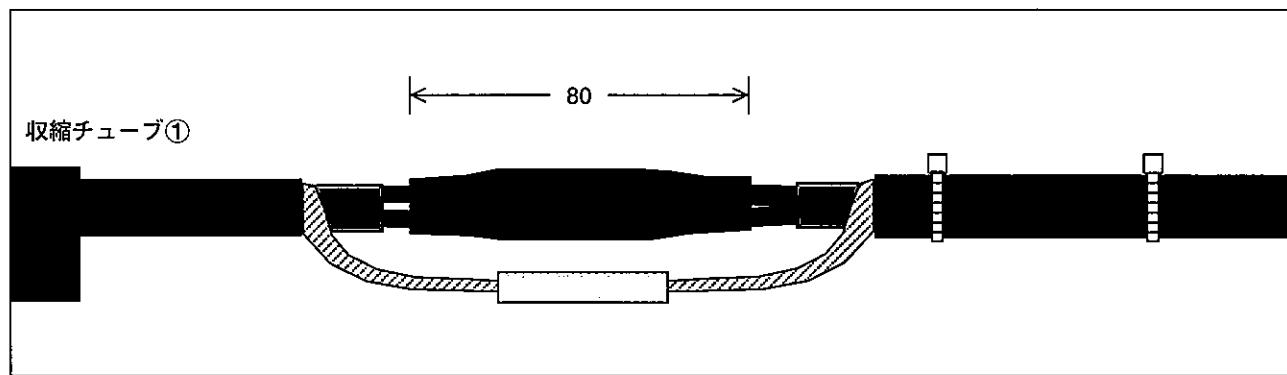


### ステップ5

図のように分岐する2本のヒータ同士を重ね、インシュロックで固定します。固定後、各導線同士を扱り合わせ、黄色の絶縁圧着端子に挿入し、圧着取付けします。

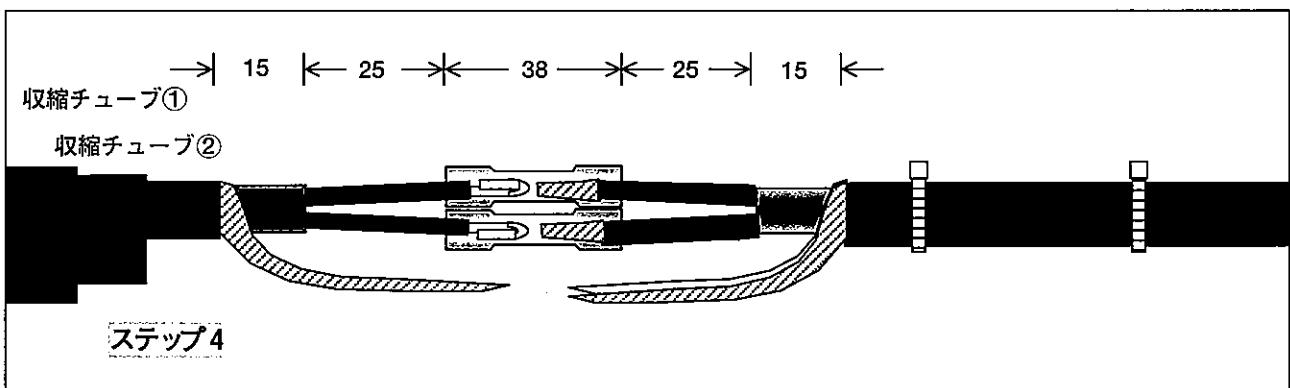
### ステップ8

挿入した収縮チューブ②を加熱収縮させた後、冷えるまで少し待ちます。続いてブレード線同士を、黄色の絶縁圧着端子により、圧着接続します。さらにバーナーにより、絶縁端子の被覆を加熱収縮させます。



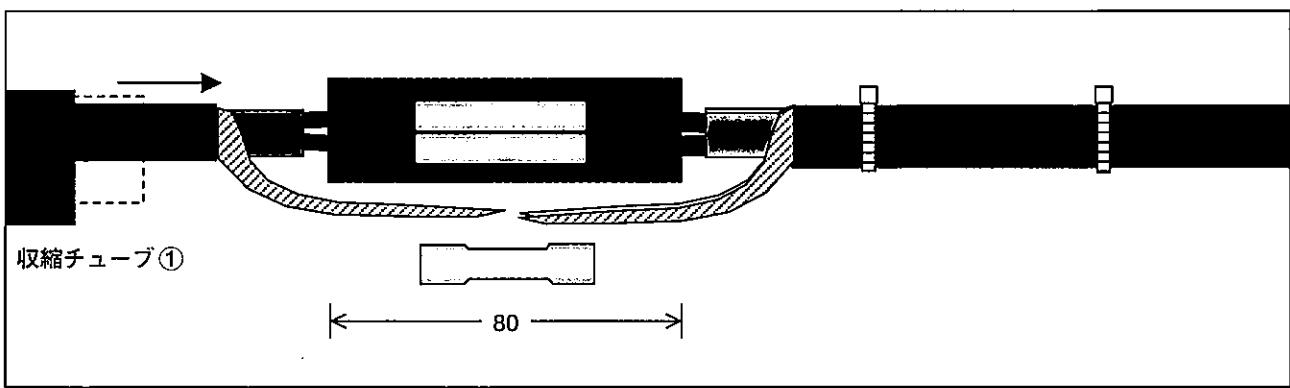
### ステップ6

共に処理されたヒータ1本と、2本とを、突合せるように黄色の絶縁圧着端子で圧着接続し、繋ぎ合わせます。



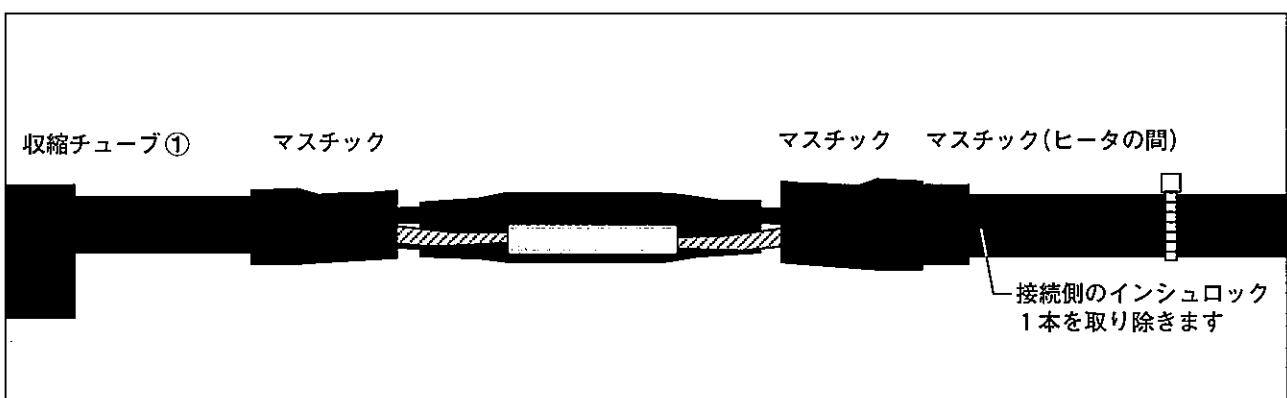
### ステップ7

図のように、予め挿入しておいた短い収縮チューブ②を、圧着接続部の中央にセットし、加熱収縮せます。



### ステップ9

図のように接続部側のインシュロック1本を取り外し、マスチックをヒータの合わせ目に入れます。次に、絶縁端子にて接続したブレード線を持上げ、チューブ上へ端子をセットします。さらに、両側にあるヒータ外層被覆端部を中心にしてヒータ外周へ、素手でマスチックを各々取付けます。



### ステップ10

マスチックを取付け後、予め挿入しておいた長い収縮チューブ①を、図のようにセットします。

